



## 特殊使用偏心検査器

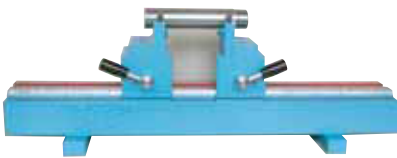
### 縦横兼用形（縦形使用も横形使用も両方可能、センターヘッドはピニオン式送り）

		測定物を横で保持する横形と、縦で保持する縦形の両方に使用できます 横使用も縦使用も水平、垂直に調整するための微動が付いています ヘッドの片側（写真左）は固定式でもう片側（写真右）がラック送りの移動式です ラック送りの為、縦形使用時もヘッドが自重で動くこともなく、測定物のチャッキングも容易です					
コードNo.	名称	全長	センター間	センター高	センター間精度	重量	使用センター
6067121	LW-1	600	0～300	110	0.006mm	20K	ハイス MT1
6067122	LW-2	900	0～500	150	0.010mm	50K	超硬 MT1
6067123	LW-12	650	0～300	150	0.006mm	35K	超硬 MT1


### 縦形（縦専用、ベースと上下移動のシャフトの両センターで受けるタイプ）

		スタンドベースを使用した縦形専用です ベース面にセンターがあり、シャフトの先のセンターで測定物を押さえます シャフト移動のため、移動距離が100mmを超えると、精度面での品質低下が起きるため移動量は100mmとして測定物の長さにより下記3種類の中から選択して使用下さい 測定可能な最大径は約φ160です					
コードNo.	名称	ベース寸法	センター間	センター間精度	重量	使用センター	
6067301	BCL-1	200×180	0～100	0.005mm	9K	ハイス MT1	
6067302	BCL-2	200×180	100～200	0.006mm	10K	ハイス MT1	
6067303	BCL-3	200×180	200～300	0.008mm	11K	ハイス MT1	

### V溝ブロック付（センター穴のない測定物用に両サイドをVで受けるタイプ）

		従来のVブロックを使用すると測定物が面当りになり、回転しづらいですがピンゲージを使用したV面のため線当りになり回転させ易いことと、Vブロックの様にV溝底部に逃げがある為、φ2～3以下は測定不能でしたがピンゲージをクロスさせている為、逃げがまったくなく0に近い径のものでも測定できます ピンゲージのみの交換も出来ます					
コードNo.	名称	全長	センター間	V寸法	V面間精度	重量	使用V
6068111	BV-1	400	0～200	50×50	0.005mm	14K	ピンゲージ
6068112	BV-2	600	0～400	50×50	0.008mm	42K	ピンゲージ

### 外付センター回転式（センター回転部分を外付にして外部出力で駆動できるタイプ）

		通常の回転センターは測定物を回すとそれに合わせてセンターのみが回転し、外部からの力（トルク等）を与えることが出来ませんが、この外付式は写真左のセンター外部分を回転させると（トルクモーター等で回転させる）それと同時に測定物も回転できます 人間の手で回転させると回転ムラが出て測定値が一定しないことがありますが、外部の力での回転はムラをなくした測定値となります					
コードNo.	名称	全長	センター間	センター高	センター間精度	重量	使用センター
6068211	BRC-1	500	0～250	110	0.010mm	20K	ハイス MT1
6068212	BRC-2	700	0～350	150	0.015mm	48K	ハイス MT1